

— 日本共産党の立党の精神は、国民の苦難を解決するための全力をあげることです —

○ 離職者への就労支援
商工振興課に緊急地域経済対策室を設置し、福祉・住宅部門などの連携と離職者などの就労支援を行います。

○ 緊急地域雇用対策事業
緊急雇用創出事業において鏡山酒造跡地暫定活用支援事業と不適応児童生徒支援員の二事業が決定

○ 失業中の方へ緊急に住宅支援
解雇等で住居を失った方（退去を求められている方）のために市営住宅を保証人なしで提供、議員団も提案。



市役所北側駐車場整備

来庁舎用に90台、観光バス乗降場や外トイレを設置。市役所前通りも16mに拡張され渋滞緩和へ

○ 小・中学校耐震化推進
今年度は今成小・古谷小・高階北小・寺尾小・霞ヶ関西小の校舎と川越第一中体育館の耐震補強工事を実施予定です。これが終了すると耐震化率は校舎で六九・〇七％、平屋体育館で二八・五七％。

○ 公立保育園の耐震診断
公立保育園の耐震診断は、対象が七園うち五園を今年実施する予定です。

○ 就学援助費の基準維持と市独自の少人数学級を継続
他の自治体が就学援助基準を切り下げるなか、生活保護の一・五倍の水準を維持。市独自の少人数学級も引続きおこないます。

○ 妊婦健康診査の費用助成
出産までの間、十回分の健康診査の費用を助成し自己負担を軽減します。



○ 駅のバリアフリー化を推進
今年度は、鶴ヶ島駅でエレベーターを設置予定。平成二十二年度は川越市駅を予定しています。

○ 鏡山酒造跡地暫定活用へ
鏡山酒造跡地を「つばさ」の情報拠点としてまた、観光情報の提供やイベントの開催でまちに活気を。

○ 暖房費補助を実施
昨年引き続き、ひとり親世帯、障害者世帯、高齢者世帯などに二千元の暖房費補助が実施されました。

○ ポケット労働法を配布
これから社会に出る若い人たちに働く権利を知らせる『ポケット労働法』を市が作成。市立高校の卒業生に配布。

毎年保育園や学童保育を利用する家庭は増え続けています。その一方で、国では民営化を推し進め、企業などが保育に参入しやすくなるように保育制度を変えようとしています。

子どもが健やかに育つ街をめざして



みなさん、こんにちは。
あたたかく暮らしやすい季節になりました。花粉症で苦労されている方も多いかと思いますが、お変わりありませんか。
新市長が誕生し、はじめての市議会が終わりました。

今議会で行った質問など

今回の議会では次のような内容で質疑などをおこないました。
○ 介護保険の値上げ案への質疑、
○ 二十年度補正予算への質疑、
○ 一般質問（保育制度改革について）、
○ 下広谷南公民館について、
○ 新年度予算案への反対討論。
また、議会開会中も多くの生活相談が寄せられました。市民生活の困難さを実感し、ますます頑張らねばと感じています。

公的な保育の充実が必要

しかし、市の責任を後退させ、安易に民営化することは質の低下につながり、子どもたちや保護者・保育者の願いともかけ離れています。私は、今の保育制度のもとで保育園を増やし、質を高めることこそ重要と指摘しました。

学童保育の質と量の充実を

また、川越の学童保育の歩みを振り返りながら、市がおこなってきた先進的な取り組みを進展させ、大規模学童や障害児、指導員の待遇改善などを進めるため、関係課が相互に連携できる体制作りをするべきと提案しました。
市長は、保育は重要で優先度の高い施策だとの認識を示し、子育て

下広谷南公民館の今後は

（仮称）名細地区統合公民館の十二月オープンに向けて進められています。これに伴い、下広谷南公民館が今後どうなるのか質問したところ、市は、同公民館は取り壊しを予定していると答えました。跡地は、地域の人たちが負担が少なく利用できるようにするべきと求めたところ市は、跡地利用は関係課で検討したいと答えました。

て支援を関連部署で検討したいと答えました。



オープンに向け整備が進む上戸の川越館跡

日本共産党
市議会議員

かきた有一

2009年No.1
議会報告

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306番地5 / 電話 090-7808-9234 /

FAX 020-4669-8696 / E-Mail mail@kakita.ac

発行 日本共産党議員団 / 連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室
電話 224-8811 (内線3636) / ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>